

捜査現場での「特例射殺」は果たして正義の鉄槌か――

エンカウンター

銃弾と正義

ラジニカント in

“狩人”の異名を持つ警視と、人権擁護派の判事が火花を散らす社会派アクション!

VETTAIYAN

ラジニカント アミターブ・パッチャン ファハド・ファーシル ラーナー・ダグバティ マンジュ・ワーリヤル リティカー・シン

監督: T・J・ニャーナヴェール 脚本: T・J・ニャーナヴェール、B・ギルツィカー

2024年/インド/タミル語/161分/配給: SPACEBOX <https://spaceboxjapan.jp/vettaian> ©Lyca Productions

G

映倫

60784

凶悪犯に対して、
逮捕状請求・逮捕・起訴・裁判などの手続きを省略して、
警察官が犯罪現場で射殺する「特例射殺」
警察官が行使する暴力に
正面から疑義を突きつける社会派アクション！

INTRODUCTION 『ムトゥ 踊るマハラジャ』(1995年)により旋風を巻き起こし、第一次インド映画ブームの立役者となったラジニカント。大ヒット作『ジェイラー』(2023年)に続く本作は、カースト差別問題を大胆な切り口で描いた『ジャイ・ビーム - 万歳ビームラーオ』(2021年)で高い評価を得た新進監督T・J・ニヤーナヴェールと組み、警察官により行われる特例射殺をテーマとした犯罪ドラマだ。ヒンディー語映画界の大俳優アミターブ・バッチャンが、ラジニカント演じる警視の行動に疑問を呈する判事として出演。インドを代表する2大俳優、“スーパースター”ラジニカントと、“ビッグB”アミターブ・バッチャンのメガ・コラボレーションも話題となり、公開年タミル語作品3位のヒットとなった。

STORY インド最南端のカンニヤクマリ県で勤務するアディヤン警視は、凶悪犯罪の捜査にあたり抵抗し反撃してくる犯罪者を迎え撃ち、その場で仕留めることをしばしば行い、“狩人”の異名をとる名物警察官。彼はある時、女性教師のレイプ殺人事件を知る。彼女は以前、教育現場をまきこんだ薬物汚染についてアディヤンに通報していた。女性教師殺人事件の特捜チームに参加したアディヤンは、犯人と思われる若い男の追跡を始める。一方、人権擁護派の判事サティヤデーヴはアディヤンの捜査手法を強い危機感をもって注視していた。2人はこの事件の捜査に関して正面から対決するが、やがてこの事件と、同時期に起きていた別の社会問題とのつながりが明らかになっていく――。

監督：T・J・ニヤーナヴェール
脚本：T・J・ニヤーナヴェール、B・キルツィカー
撮影：S・R・カディル 音楽：アニルド 編集：フィローミン・ラージ
製作会社：ライカ・プロダクションズ

ラジニカント、アミターブ・バッチャン
ファハド・ファールシ、ラーナー・ダググバーティ
マンジュ・ワリヤル、リディカー・シン
ドゥシャラー・ヴィジャヤン、キショール ほか

2024年/インド/タミル語/161分/原題：Vettaiyan/G
日本語字幕翻訳：大西美保/タミル語監修：小尾 淳/協力：安宅直子
配給：SPACEBOX ©Lyca Productions



※本作には女性への性暴力を間接的に描写するシーンがあります。あらかじめご了承ください。

ホームページ spaceboxjapan.jp/vettaiyan

Xアカウント @spacebox_jp

狩りの獲物は必ず仕留める

2025年9月5日(金)より 全国公開!